

福島第一原子力発電所 F1 タンクエリアフランジタンク (J2タンク) からの水の滴下について

< 参 考 資 料 >
2022年4月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 4月13日午前10時28分頃、F1 タンクエリア※のJ2フランジタンクのフランジ結合部から、水が滴下していることを当社社員が発見しました。
なお、滴下した水は同タンクエリアの堰内に留まっており、外部への漏えいはありません。
- J2フランジタンクのフランジ結合部からの滴下状況は以下の通りです。

< J2フランジタンク > 滴下箇所：タンクフランジ接合部
滴下状況：9分に1滴程度
滴下範囲：約3cm×約5cm×深さ約1mm

※ F1 タンクエリアは、5・6号機の低レベル滞留水を貯留しております。

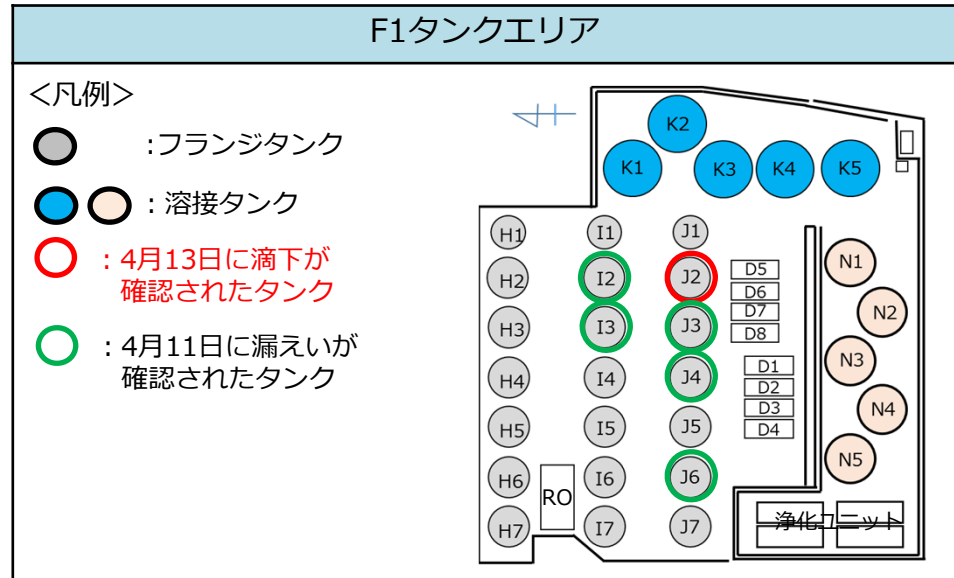
- 上記タンクから滴下した水のスミア測定を実施した結果、バックグラウンドと同等（約400cpm）であることを確認しました。
- その後、滴下した水が拡大するのを防止するため、同日午前10時45分頃、J2フランジタンクの滴下に対し受けを設置。また、午前11時30分頃に養生の設置を完了しました。今後、経過観察していきます。
- また、敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- 今後、フランジ接合部から水が滴下した原因を調査するとともに、応急的な対策として止水材にて滴下箇所を補修してまいります。
- 引き続き、同タンクエリアのタンク内に貯留している水の処理を進め、貯留量の低減を進めるとともに、中長期対策として、フランジタンク内包水を溶接タンクへ移送し、保管する予定です。

Fタンクエリア位置図およびF1タンクエリアフランジタンク漏えい（滴下）箇所

【Fタンクエリア位置図】



【F1エリアタンク（J2）】



フランジタンク概要図

